

これまでの議論(論点)

- これまで研究会では、地域コミュニティが地域力、地域活性化の重要な要素であるとの観点、地域コミュニティ等の多様な主体と行政が協働する「新しい公共空間」の形成という観点から議論。

「新しい公共空間」のモデルとその展開

(「新しい公共空間」において想定する主体)

- 地域では、行政のみならず地域コミュニティやNPO団体、マンションの管理組合、商店街組合、さらには、企業の事業所、外国人のグループなど様々な団体が活動しているが、「新しい公共空間」の担い手としてどのような主体を想定するか。

(「新しい公共空間」における主体間の関係と結合の仕組み)

- 多様な主体が協働する「新しい公共空間」における行政、地域コミュニティ、NPO団体など多様な主体の関係、結合の仕組みと範囲、課題設定や意思決定の仕組みについてどのように考えるか。

(「新しい公共空間」における都道府県と市町村の役割)

- 「新しい公共空間」においては行政も主体の一つとして、地域コミュニティなど他の主体と水平的に結合することが想定されるが、その際の都道府県と市町村の役割についてどのように考えるか。
- 「新しい公共空間」において期待される都道府県と市町村の役割と適合した都道府県や市町村の組織あるいは人事システム等のあり方、仕組みとしてはどのようなものが考えられるか。

(「新しい公共空間」における協働的な執行の仕組み)

- 「新しい公共空間」においては、地域の課題解決のための活動についても、地方自治体や個々の地域コミュニティ等が個々に行うだけではなく、協働して行うことが想定されるが、その際の仕組み、結合のあり方、権限などについてどのように考えるか。

(「新しい公共空間」における地域コミュニティのあり方)

- 「新しい公共空間」においては、地域コミュニティが公共的な意思決定に参画し、自らそれを執行したり、あるいは他の主体と結合して執行したりすることが想定されるが、その場合の地域コミュニティ自体のあり方についてどのように考えるか。

(「新しい公共空間」と地域自治区制度の関係)

- 現在、住民自治あるいは行政と住民との協働を推進するための制

度として地域自治区制度が定められているが、「新しい公共空間」のモデルを想定した場合、更にどのような仕組みが求められるか。

地域コミュニティの活性化を通じた地域力の向上

(地域力の向上における地域コミュニティの役割と意義)

- 地域が持っている人材、資源を活用して、住民自身が地域の課題や魅力の向上、地域の価値の創造を担っていく地域のあり方を想定した場合、行政とは異なる地域コミュニティの役割や意義についてどのように考えるか。

(地域コミュニティの変化のプロセス)

- 地域コミュニティの規模や組織、活動内容等は、固定化されたものではなく変化していくものと想定されるが、地域コミュニティの規模や活動内容等の変化のプロセスはどのように整理されるか。

(地域コミュニティが直面する課題)

- 金銭面での課題や活動の担い手の不足やとりまとめ役の不在など人材面での課題、個人情報保護法制との関係など、現在、地域コミュニティは様々な課題に直面していると言われていたが、その実態はどのようになっているのか。
- また、地域コミュニティが直面する課題は、地域コミュニティが活動する分野や地域、地域コミュニティの規模や活動内容等の違いに応じてどのように整理されるか。

(地域コミュニティの経済活動と法人制度)

- 現在、地域コミュニティにおいては、経済活動の重要性が増していると言われていたが、地域コミュニティが行う経済活動としてどのようなものを想定するか。
- 地域コミュニティが行う経済活動と認可地縁団体制度や一般社団法人・財団法人制度など既存の法人制度の適合についてどのように考えるか。

(地方自治体職員の地域コミュニティへの参画)

- 地域コミュニティの活動に地方自治体の職員が個人として関わることについて、その意義や、地方自治体における位置づけについてどのように考えるか。
- また、地域コミュニティの活動に地方自治体の職員が参画することを想定した場合の地方自治体の組織や人事のあり方、参画を推進するための仕組みについてどのように考えるか。

(地域コミュニティに対する支援等)

- 地域コミュニティに対する支援について、その目的や手段などのあり方についてどのように考えるか。また、中間支援団体の意義についてどのように考えるか。
- 地域コミュニティの活動に地域の住民以外の者が参画することについてどのように考えるか。また、その際の仕組み、あり方についてどのように考えるか。

(地域コミュニティの活動に関する評価と情報共有の仕組み)

- 地方自治体等から支援を受けて活動する地域コミュニティについて、当該地域コミュニティの活動に対する評価のあり方、仕組みについてどのように考えるか。
- また、地域コミュニティの活動を地域の住民に対して情報提供していくための仕組みとしてどのようなものが考えられるか。

(参考)「新しいコミュニティのあり方に関する研究会」開催経過

- | | |
|------------------------|---|
| <u>第1回</u>
(7月24日) | 「現代日本のコミュニティ」
(辻中構成員、地域コミュニティの現状(統計資料等)等) |
| <u>第2回</u>
(9月24日) | 「地域における文化力の重要性」
(小島美子氏、伝統文化の分野におけるコミュニティの意義等) |
| <u>第3回</u>
(10月16日) | 「コミュニティ・プラットフォームの意義と担い手について」
(名和田座長、町内会等の加入率等) |
| <u>第4回</u>
(10月31日) | 「消防団の現状と課題」
(小澤構成員、消防団が直面している課題等)
「老人クラブによる地域活動」
(永井構成員、老人クラブの活動の意義等)
「地域福祉・地域ケアから地域の「適正規模」を考える」
(森本構成員、社会福祉における地域コミュニティの意義) |
| <u>第5回</u>
(11月14日) | 「農山村における新しいコミュニティ」
(小田切構成員、地域コミュニティの価値の淵源・地域自治区制度・コミュニティの法人格・中山間地域におけるコミュニティ) |
| <u>第6回</u>
(12月11日) | 「「新しい公共」と新たな支え合いの創造へ」
(渡辺構成員、多摩市の事例(新しい公共等))
「磐田市のコミュニティ関連施策」
(山下構成員、磐田市の事例(外国人との共生等))
「宮崎市のコミュニティ関連施策」
(中島構成員代理、宮崎市の事例(コミュニティ税等)) |
| <u>第7回</u>
(3月30日) | 「地域力再生プロジェクト」
(梅原豊氏、京都府の事例(地域協働、都道府県の取組)) |